

# ネット ワーク対応のサーバー 大容量ストレージを 格安販売

## 国際マイクロ写真工業社



「情報の保存と活用」を掲げ、マイクロフィルムの撮影から、ファイリングシステムの構築、さらにはデジタル入出力まで幅広く手がけて躍進をみせている(株)国際マイクロ写真工業社(本社=東京都新宿区・社長・森松義喬氏)では、このほど、

同社KMS資材販売部とデジタルシステム部と共同で、台湾製ストレージ「CDミラーサーバーFISC CD」の販売を開始した。

新製品「CDミラーサーバーFISC CD」は、先の東京ビックサイトで開催された「ビジネスショー2000Tokyo」で初公開、関係者の注目をあつめ、OEM販売の話も多数寄せられたことから、国際マイクロ写真工業社では、本格的な販売に着手したものの。

新製品「CDミラーサーバーFISC CD」は、昨年中頃から台湾を拠点に発売され、アメリカ、台湾、中国など、海外で8,000台以上の販売実績を持つ大容量ストレージサーバー。今回本格販売に書手した森松社長は、「新製品はユーザーニーズにかなった大きな容量と軽快なネットワーク性能、かつてない

低コスト製品であることから、このクラスの製品としては、まれにみる販売実績を上げている製品」と説明している。さらに森松社長は、「現在のところ80GB・280GB2モデルがあるが、単体HDの将来の大量化と平行した増設は可能。このレベルのストレージであれば、容量と平行して、250万~1,000万円が相場であったが、わが社では86万~140万円程度で販売する」と、この製品が市場にデファクトスタンダードになると確信している。

今回の「CDミラーサーバーFISC CD」の低価格実現について、森松社長は「従来の問屋制度を極力削除した大手販売会社と契約しないことにより、価格設定が拘束されないインターネットやEメール、同社が所属する各MLなどを中心とする販売、主にネット販売(<http://www.kms.gol.com/>)販売経費の削減を図った等の理由から、低価格化を実現したと説明している。

新製品の主な特長は「既存のネットワークに容量に追加でき、オペレーティングシステムに依存しないファイル共有、バックアップを提供するネットワークファイルサーバー HDD当たり最大80個のCDイメージを作成することができ、FULLTOWER HDD8台)で640個のCDイメージを管理することができる。

